

たつ年生まれ 年男 & 年女



たつ年生まれの子どもたちに今年頑張りたいことを聞きました。



近藤 琴音 さん
(葛巻小5年)

苦手な算数を頑張る

今年は苦手な算数のテストで70点以上取れるように頑張りたいです。夏から始めた英会話教室も、自分のためになるので続けていきたいです。縦割り班活動で下級生に何かを教えるときには、優しく分かりやすく接したいです。



戸田 結衣 さん
(小屋瀬小6年)

料理に挑戦したい

家事を少しずつ自分でできるようにしていきたいです。料理に挑戦して、オムライスを作れるようになりたいです。図工と算数が得意なので、中学校では数学を頑張りたいです。また、全校生徒で取り組む萌黄祭の劇も楽しみです。



川下 嵐 さん
(江刈小5年)

ピッチングに力を入れたい

スポーツ少年団の野球でピッチャーをしているので、基礎練習をしっかりとピッチングを強化したいです。下級生の手本となるよう取り組んでいきたいです。運動が得意なので、今年の運動会のリレーが楽しみです。



木下 煌大 さん
(五日市小5年)

修学旅行が楽しみ

最上級生になるので、縦割り班で低学年の子にちゃんと指示を出したいです。習っているピアノで今練習中の曲を弾けるようになりたいです。旅行が好きなので、家族でどこかに旅行したいです。また、修学旅行もとても楽しみです。

新年あけまして おめでとーうございます



北部地区の馬淵川で羽を休める白鳥



葛巻町長 鈴木 重男

あけましておめでとうございませう。本年が皆さまにとりまして、希望に満ちた幸せな一年となりますよう、お祈り申し上げます。

日頃より、町政運営にあたりましては、町民の皆さまからの特段のご理解と、温かいご支援、ご協力をいただきありがとうございますこと、心から深く感謝申し上げます。

昨年は、多くの町民の皆さまから、これまでのまちづくりに対しご理解とご支持を賜り、無投票再選の栄に浴し5期目の町政を担わせていただくこととなりました。改めて心より感謝申し上げますと共に、町のさらなる発展のため全力でまちづくりに取り組んでまいりる所存であります。5期目のまちづくりにおいては、「町の魅力をさらに高める3つの挑戦」として、「持

続可能な「まちづくり」を循環する「ひとづくり」「次代につなぐしごとづくり」の3つの柱を掲げ、町民の皆さんの暮らしの質の向上に取り組んでまいります。

また、昨年5月には岩手県町村会長に再任されたほか、7月からは全国町村会副会長に就任したところであり、町の魅力、ポテンシャルを、これまで以上に広く全国に発信することができるようになりました。

町の課題などにつきまして、これを国や県にしっかりと伝え、より一層の山村振興を訴えてまいります。町民の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。

コロナ禍を乗り越えて

さて、令和元年12月初旬に中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されて以降、その後わずか数か月で世界的なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症であります。以降、町のさまざまな活動においても大きな影

響を受けてまいりました。このような中、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法による分類が2類から5類に引き下げられたことにより、これまでさまざまな制限を受けてきた活動をコロナ禍以前と同様に実施することが可能となりました。

これまで町民の皆さまには、コロナ対策による事業の中止、規模の縮小などによりご迷惑をお掛けしてまいりましたが、5類引き下げ以降は実施事業を通常ペースに戻し、町民の皆さまが集い、楽しめる環境を取り戻せるよう努めてまいりましたこと、引き続き、打撃を受けた地域コミュニティの再生、町内経済および観光産業の回復に取り組んでまいります。

また、令和4年の11月に開庁した複合庁舎「くずまゝ」であります。昨年5月には盛岡信用金庫葛巻支店が、6月からは町商工会が入居し、行政、交流、防災、医療、商工、金融の機能が集約された、新たなまちの拠点として稼働しております。

本年は、第2期工事とし

て、防災対策の重要拠点である消防分署棟、車庫棟のほか、町産材を使用した大屋根広場「びっくテラス」などの完成を予定しております。「くずまゝ」の愛称に込められた「人、機能、情報が集まる」拠点として、町民の皆さまに親しまれる施設となるよう取り組んでまいります。

このほか、町の最重要課題である人口減少問題に果敢に挑戦し、若者や子育て世代をはじめ、多くの世代から選んでいただける町を目指してまいります。

北・北道路の早期実現へ

北岩手・北三陸横断道路の整備に向けては、平成30年に当町を含めた2市2町2村で整備促進期成同盟会を立ち上げ、現在は盛岡広域および宮古市以北の19市町村に拡大し、早期実現に向け鋭意取り組んでいるところであります。

道路ネットワーク整備の遅れが、県北・沿岸北部地域の発展に大きな影響を与えており、東北自動車道と三陸沿岸道路とを結ぶ自動車専用高規格道路として「北岩手・北三

陸横断道路」の早期着工、早期整備に取り組み、均衡ある県土発展のため、県央・県南地域との格差是正、地域経済の活性化による町民所得の向上、交流人口および関係人口の拡大を目指してまいります。

大きく飛躍する年に

私はこれまで、信条である「夢しか実現するものはない」という言葉を胸に、さまざまな事業の実現に果敢に挑戦してまいりました。今後におきましても、これまで実施して

きた各種施策にさらに磨きをかけて共に、「新たな可能性に挑戦する、町民主体のまちづくり」「山村のモデルとなる光り輝くまちづくり」に全身全霊をかけて取り組み、町民が幸せを実感できる、住みよいまちの実現を目指してまいります。

本年の干支は甲辰であります。甲辰は「あまねく成長を助く年」とされており、全ての分野で急速な成長と変化をもたらす年のことでもあります。町では、令和6年4月から町総合計画後期基本計画が

スタートすることとなつており、人口減少対策、あるいは「くずまゝ」を拠点としたにぎわい創出など、これまでの取り組みが実を結ぶよう、わが町もこれにあやかり、大きく飛躍する一年としてまいりたいと思っております。

結びに、年頭に当たりまして、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に、本年もなお一層のご活躍をご祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。